

月輪古墳群(比企郡滑川町)

つきのわ

ここは月輪駅近くにある「こふん公園」/滑川町に所在する/関越自動車道の西側にある





埼玉県選定
重要遺跡

つきのわ こぶんぐん
月輪古墳群

選定
所在
時代

昭和四十四年十月一日
滑川町の輪七・八・一ほか
古墳時代（五世紀後半～七世紀）

月輪古墳群は市野川右岸の東松山台地の北縁に分布しています。かつては百基以上の古墳があったと思われませんが開墾等により多くの古墳が崩されてしまいました。また、近年の区画整理によって五十九基の古墳が記録保存の措置がとられました。

「こぶん公園」に立つ説明板から

発掘調査の結果、ほとんどの古墳は直径約10mから20mの円墳でしたが、帆立貝形古墳も数基ありました。埋葬施設については棺を直接埋めたと考えられるものと横穴式石室を持つものがありました。多くの古墳からは円筒埴輪のほか人物・馬・鳥・家などの形をした埴輪が多数出土しました。月輪古墳群は狭い範囲の中で約一世紀の間に連綿と古墳が作られ、古墳時代後期の群集墳として貴重です。この公園には二基の古墳が保存されているため、むやみに土を掘り返したり、木を植えてはいけません。

平成二十年三月



滑川町教育委員会

二基の古墳が保存されている/円墳



正面前方の僅かな高まりがもう一つの古墳/前方に建つ住宅の向こうにある木々の中にも更なる古墳が存在するらしい/その木々の中は嵐山町のエリアとなり、行政上の区分から屋田古墳群と呼ばれている/手前の二つの古墳のエリアは滑川町の月輪古墳群



住宅のすぐ後ろにあった古墳(嵐山町の屋田古墳群に属する)/旧月輪27号墳か/西側から見たところ/滑川町との境界付近にある



円墳/東側から見る



北側から見る



これは木々の中(嵐山町のエリア)に入ってすぐのところにある高まり/古墳のようだ



少し進むと墓地の背後に古墳がある/旧月輪28号墳か



円墳/東側から見る



北側から見る/5世紀前半から6世紀末まで継続的に築かれた古墳群という



これはその旧月輪28号墳と思われる高まりのすぐ西側にある高まり/これも古墳であろうか



振り返って東側を見ると正面に別な高まりがある



西側から見る



北側から見る



東側から見る



さて、そこから北方向を見ると正面にこの辺りで最も大きい高まりが見える



旧月輪30号墳であろうか/円墳/東側から見とところ



墳丘にえぐられた跡がある



北側から見る



さて、ここは関越自動車道の東側で正面の木々の中に古墳があるらしい/ここもこの道の右側が滑川町のエリア、左側が嵐山町のエリアという行政境である



少し進むと右手に高まりが見えてきた



西側から見る



北側から見る



墳頂を見る/最近樹木が伐採されたようである



境頂に立って東側を見る/正面前方に高まりが見える



これがその高まり/左手に神社の鳥居がある



南側から見たところ/右手には溜池がある



西側から見る/古墳であろうか



北側から見る



東側から見る



鳥居の奥には高まりの上に神社の小祠が載っている



やはり古墳であろうか



そういう雰囲気である



さて、最初の古墳の近くで行政境の道の左手藪の中を覗いてみる



高まりが見える



藪の中に入ってみると明らかに古墳のようだ



境頂を見る



さて、これはやはり関越自動車道の東側で側道近くにあった高まり



北側から見る



西側から見る



さて、ここは月輪神社入口





ゆ

月輪神社 (ささら獅子)

滑川町郷土かるた散策路

中央集会所

社殿は古墳の上に建てられている



東側から見る/これが月輪神社古墳



北東側から見る



古墳の高まりが見てとれる



北側から見る



北西側から見る



南西側から見る



社殿前面を西側から見たところ



拝殿





月輪神社

祭神

須佐能命 滑川村大字月輪
木花佐久夜毘咩命 兼実
味祖意彥命
菅原道真 豊受姫命

由緒

当社は和銅二己酉(西暦七〇九)年に大字氷川神社の神靈を此の地に分社したと鎮守名に記載されており、その後建久九戊午年三月、月輪兼実の靈を合祀して氷川大明神と称した。享保八年九月、宗源宣旨により正一位の神位を贈られた。明治維新の際、明神号を廃し、氷川神社と称し、明治四十一年三月、大字内の五社を当社に合祀して、今までの氷川神社号を月輪神社と改称した。明治四年村社となり、大正五年指定村社と昇格した。

祭事

元旦祭 一月一日

例祭 七月十五日

新嘗祭 十一月二十三日

春祭 四月十日

秋祭 十月十日

昭和五十四年十二月吉日

滑川村観光協会
滑川村教育委員会



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/namekawa_tukiwa/

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/ranzan_tukiwa/

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/namekawa_tuzinzya/

参 考

滑川町と嵐山町にまたがる月輪古墳群(嵐山町域では屋田古墳群と呼ばれる)の総数は100基を超えるという。

月輪古墳群は市野川中流域において最大、最古の古墳群であり、東方に所在する宮前遺跡、築地前遺跡、林遺跡が月輪古墳群造営の基盤となる集落遺跡と考えられている。また、その生産遺跡としては須恵器窯である五厘沼窯跡、瓦陶兼業窯の平谷窯跡、埴輪を供給した姥ヶ沢・権現坂埴輪窯跡が所在する。

①こぶん公園、②西側のエリア、③東側のエリア



←月輪神社古墳